

年賀状に励まされて・・・いい風吹かそう

元旦、風の会へ年賀状の束。エールやITに強くなるよという決意表明など様々です。

2001年から引継いで、午年もあまり明るくならないのではないかとやや悲観的なものや、世の中の動向の如何は別にして、ともかく自ら救済してゆくより、仕方がないと云った前向きなものまで、今の世相そのままだなと思われるはがきを頂きました。

パソコン時代を反映して自作のカラフルな写真入り賀状で占められていた様です。宛名もほとんど筆文字ソフト活用。

いずれも、風の会や河本への温かい応援の言葉とありがたく感謝しています。



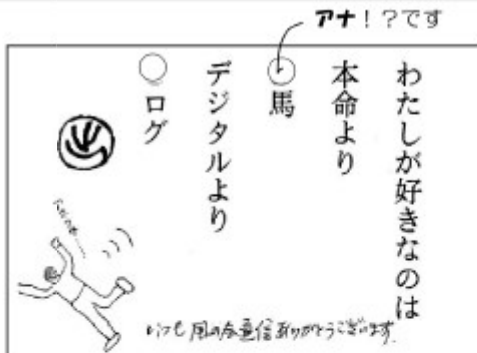
書：あながいおまる様

▼今年の想いは 神馬天翔 ひとりひとり輝き、
となりの人と 手をつなごう

大阪市 あながいおまる様

▼「少し足りない目」の方が本当はしあわせなのかも知れません。足りない部分を補おうとすることで達成感や充足感が得られると思うのです。豊かではなかった時代を私たちがどう生き抜いてきたのかを思い起こすと、厳しい今を乗り越えるヒントがあるような気がします。

大阪市北区 森田昌子様



↑馬とログの上に孔があいていた大阪市住吉区の小西耐司さんの賀状です。

▼私も文字通り職業人生の終焉期にきていますが、不況不安の大合唱のコーラス部には入りたくないと思っています。そして自分なりの晴耕雨読を楽しんでいけたらと楽観しています。

宇治市 晩田隆重様

▼大阪府が破綻するか、自分自身が破綻するか？ 短命を越え、ただ前だけを見て進んでいくべ、と自身を鞭打つ今日この頃です。

京田辺市 今西秀明様



▲今西先生のお子さんの絵

▼未経験の70歳代……少々不安もありますが、夢もあり、健康で楽しく過ごせるといいなあと思っています。ことしも自由に遊びます。

兵庫県川西市 土肥佐留子様

吹き飛ばされないように・・・

風は、いつも温かい風や、そよ風ばかりとは限りません。逆風や強風にも吹き飛ばされない様、粘り強く前進したいと思います。(風の会一同)

▼「風の会」吹き飛ばされないように頑張ってください。なにか手伝うことがあつたらよろしく。夏の能美農ツア-、楽しみです。 大阪市淀川区 鈴木惣二様

▼「風の会」が少しずつ少しずつ前進していくとよいですネ。

高槻市 生田正治様

▼「風の会」、粘り強く発展されることを祈ります。

池田市 平川勝士様

▼広い心で生き生きと暮らすための応援歌「風の会通信」を読み、今年もしっかりやります。

松江市 佐野孝子様

▼そのうち、ピンピンコロリの会に入れてください。くれぐれもご健康をお祈り申し上げます。

藤井寺市 松田佳代様

ことしこそ ITの達人めざそう!

▼パソコン教室とって楽しいです。

奈良県北葛城郡王子町 小林幸子様

▼相変わらず、物覚えが悪くてもたもたしています。パソコンで年賀状・・・まだまだで残念です。

東大阪市 岡崎泰子様



▼パソコンで年頭のご挨拶ができなくてお恥ずかしく思っています。大阪へ参りましても実家以外に行かせていただける処ができて心強く嬉しく存じます

東京都日野市 前田佳子様

▼今年こそ自分のホームページ作りたい。風の会にのせてくださいね。

真面目市 小川真理子様

インターネットやメールが随分普及して参りましたが、中高年世代の利用は、未だ不十分な状況です。これから始まる還暦からの青春(還春)を契機に、インターネットの世界にチャレンジしてみませんか。還春時代の生活に楽しさや潤いが増し豊になります。新しい世界が拓けるインターネットを、風の会のパソコン教室で是非体験して下さい。

のんびりやりましょう。(^^)

一風の会パソコン教室講師 郷原秀昭

■ 消息

▼新春に『おもしろい「一坪商法」で食っていく』(オ-エス出版)と『東京と大阪「味」のなるほど比較事典』(PHP文庫)を出版予定。大阪新聞「女子大生の大阪川柳」コラムを連載中。

大阪研究の前垣和義様(大阪市北区)

▼大病から生還して4年経ちました。お陰様でそこそこ健康が取り戻せた今のうちにと思い地球一周の船旅に単身で参加しました。12月26日、神戸出港、アフリカ、南米、南極、南太子洋の島々を巡って、3月末帰国予定。

大阪市北区 若狭谷好一様

▼新世紀を担う人材育成という大学の仕事も、新設学科の初卒業生輩出とともに環境経営などを取り入れ、「産業デザイン学科」と改称される。と関西と青森を往復されている、青森大学経営学部教授、塩見法弘様からお知らせ。

▼今年一月末で永年勤めた会社を退職、年内に中国・大連に日本語教師として行くこと、さらに国際交流活動を続けたい、と「好っきゃねんアジア事務局」

森崎律子様(大阪市鶴見区)から決意表明

2002年(平成14年)おめでとう

『戦』に象徴された平成13年も、祝賀喜年で幕を閉じ万国胸痛の中にもホッと一息。ところで、この二人の旧姓、並べて互い違いに読むとビックリ。

おわたまさこ 人生は前世で自分が計画したとおりと誰かが言ってた。人は成長するためには変化が必要だけど、その改革には痛みを伴い、抵抗勢力も。他人と過去は変えられないけど自分と未来は変えられる。変えることを恐れずひるまず、発展途上人を自覚して明日があるを信じて55歳(GO、GO)で不良長寿をめざそう! なんか変化! 生きているということは誰かに借りを作ること。生きてゆくということはその借りを返していくこと。誰かに借りたら誰かに返そう。誰かにそうしてもらったようにそうしてあげよう。痛判、金叩生活の今こそ、「にもかかわらず笑う」こと。

あたしとあなたはサボテン夫婦。

トグはあれども水いらす!

日本笑い学会副会長
界 幹夫

ゴビ敬愛にて(8月)→

